

MECHATROLINK NEWS「MMA-FLASH」は、協会から皆様へ最新情報をお伝えします。

特集

MECHATROLINK 協会

成長から飛躍へ～MECHATROLINK～

2003年にMECHATROLINKが公開されて10周年を迎えた2013年は、10周年記念を前面にプロモーション活動を推進し、その結果、MECHATROLINK協会(MMA)会員数は2014年1月に2000社を突破しました。それと同時に、近年特に大きな広がりを見せている中国において会員数が1000社を超え、アジアNo.1のネットワーク推進団体となることができました。

今号では、MMAの2013年度の活動実績と、2014年度の取り組みについて紹介します。

2013年度の活動実績

(1) 会員数2000社を突破

MMA会員数は2014年1月に2000社を突破しました。それと同時に、近年特に大きな広がりを見せている中国においては、会員数が1000社を超えました。

(2) 台湾支部の新設による普及推進

近年急速に発展しているアジア市場のサポート強化のため、2013年11月には台湾支部を設立し運営を開始しました。これにより、台湾国内でのMECHATROLINKに関するお問合せや、製品開発・技術サポートをより早く現地にて受けることが可能となりました。また、中国支部との連携により、アジアでの更なる普及・推進を進めます。

(3) イベント参加実績

2013年11月に東京ビックサイトで開催された「システム・コントロール・フェア2013」に出展しました。ブースでは、MMAのキャッチコピーである「マシンの鼓動が聴こえる」を体験できるコンセプトデモを行いました。

また、MMA本部と各支部は、アジア各地で積極的に展示会へ出展し、MECHATROLINKの魅力をお客様に実体験していただ

いています。日本、中国、韓国、台湾はもちろん、2013年4月にはシンガポールで開催されたMTA2013、2014年1月にはインド・バンガロールで開催されたIMTEX2014に初出展を果たしました。各展示会を通じて、MECHATROLINKのメリットを多くの方にPRすることができました。

システム・コントロール・フェア2013



2013深センMECHATROLINKセミナー

2014年度の取り組み

日本発のモーションフィールドネットワークとして、日本市場からアジア(中国)市場への普及と拡大によるメンバ数2000社突破の実績と以下の基本方針に基づき更なる普及・拡大を図り、モーションフィールドネットワークとしてのデファクトスタンダードを目指します。

1. MECHATROLINKの普及・推進

メンバ数、適用製品の拡大に加え、ユーザへの普及活動を強化

2. システム提案力の強化

メンバ製品の組み合わせによるシステム提案力の強化

3. 次世代MECHATROLINKの開発

更なる競争力強化に向け次世代への取り組みの加速

具体的には、以下の取り組みを強化します。

システム提案力の強化とMECHATROLINKの普及・推進

従来の普及・推進活動を進めていく中で、地域毎の状況に合わせて、強化ポイントを明確にして取り組みを進めます。

【日本】

従来の普及・推進活動に加えて、MECHATROLINKのユーザ開拓活動を強化するため、展示会出展・MMAフェアだけでなく、カスタマ訪問などに積極的に取り組みます。また、ユーザ開拓活動を進めるために、メンバ製品の拡大、相互接続性の強化に加えて、MECHATROLINKを使用したシステムでのメリットを明確にしたデモ機やプロモーション資料などの準備を進めます。

【韓国・中国・台湾】

従来の普及・推進活動に加えて、ローカルメンバの製品開拓とプロモーション活動を強化することにより、ローカルシステム、ローコストシステムへのMECHATROLINKの普及・推進を加速させます。

【ASEAN・インド】

今後ネットワーク化が期待される市場に向けて、MECHATROLINKの知名度向上を図るとともに、日本をメインとした先進国での成功事例等を前面に出し、プロモーション活動を強化します。

【欧米】

IEC化による国際標準化と、欧米メーカ製MPUへのMECHATROLINK内蔵化などローカルメーカへの対応とプロモーションを強化します。

次世代MECHATROLINKへの取り組み

汎用Ethernetの市場動向や技術動向を注視し、既存MECHATROLINKとの互換性・親和性確保を前提としながら他ネットワークに負けない要素技術対応と、国際標準化対応に向けた取り組みを継続します。

MMAは、メンバの皆様のご支援をもとに、今まで以上にMECHATROLINKの普及・推進を実施して参ります。



News & Topics

MECHATROLINK協会 2014年度 総会/講演会並びに懇親会開催のご案内

MMAでは、下記要領にて2014年度の総会/講演会並びに懇親会を開催致します。参加費用は無料となっておりますので、是非とも多くのメンバ殿にご参加いただけますよう、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

尚、ご参加には事前登録が必要です。総会への参加ご希望の方は、協会ウェブサイトよりお申込みください。

<http://www.mechatrolink.org/jp/>



2013年総会の様子

日時	2014年6月6日(金) 13:00~18:50
開催場所	秋葉原UDX カンファレンス 6F ・住所: 東京都千代田区外神田4-14-1 ・アクセス: JR秋葉原駅より 徒歩2分 東京メトロ銀座線 末広町駅/ つくばエクスプレス 秋葉原駅より 徒歩3分 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅より 徒歩4分 地図は以下のURLをご参照ください。 http://udx.jp/conference/access.html
参加資格	MECHATROLINK協会会員
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○MMA2013年度活動報告および2014年度活動方針 ○収支報告・予算計画 ○分科会報告(マーケット部会・PC技術部会) ○特別講演: <ul style="list-style-type: none"> ・TOWA株式会社 装置開発部次長 山下信也様 ・天津紫金電気科技有限公司(TIANJIN ZIJIN ELECTRIC TECHNOLOGY CO.,LTD) 郝世剛(Hao Shigang)様 ○新製品紹介 ○懇親会

展示会出展のご案内

「テクノフロンティア2014」・・・出展各社がメカトロニクス・エレクトロニクス分野の要素技術と製品を紹介します。

イベント会場
のご案内

会期：2014年7月23日(水)～25(金) 場所：東京ビッグサイト 東3ホール ブース番号：3F-203
備考：URL <http://www.jma.or.jp/TF/ja/>

主な出展メンバの
ご案内 (敬称略)

- ・株式会社アルゴシステム
- ・株式会社デジタル
- ・株式会社安川電機
- ・株式会社エム・システム技研
- ・日機電装株式会社
- ・横河電機株式会社
- ・株式会社エニイワイヤ
- ・株式会社マイクロネット
- ・オリエントアルモーター株式会社
- ・安川情報システム株式会社

「産業オープンネット展2014」・・・オープンネットワークを推進する各団体がセミナーやデモを通して採用メリットを紹介します。

イベント会場
のご案内

会期：【名古屋】2014年7月2日(水) 【東京】2014年7月4日(金)
場所：【名古屋】ウイंकあいち(名古屋駅前) 【東京】大田区産業プラザ(京急蒲田駅前)

当日来場ご希望の方は、インターネット(主催者サイト)からお申し込みください。 <http://www.open-networks.jp/>

展示会・セミナー レポート

Automation World(aimex 国際自動化総合展)2014 出展報告

2014年3月4日(火)～7日(金)4日間、韓国ソウルで開催された“AutomationWorld2014(aimex国際自動化総合展)”に出展しました。

ブースには連日多くの方が来場し、MMAの活動及びデモ機に興味を持っていました。特に、今回の展示会はMECHATROLINK-Ⅲを適用した場合、設備の“高速化”、“小型化”、“高精度化”の実現をコンセプトとし、全体パネルをはじめ、MECHATROLINK採用の長所についてアピールしました。また、個別展示としてローカルメーカー(韓国)が開発している展示品も同時展示し、好評を頂きました。

さらに、展示会会期中にはMECHATROLINKの理解を高めるためにセミナーも開催し、“MECHATROLINK協会10周年記念セミナー”をテーマにMMA事務局代表による講演を行いました。

展示会期間中、約1,150名の来客者がMMAブースを訪問し、26社の新規入会申込がありました。

これからも、MECHATROLINK-Ⅲを普及するために、韓国国内で推進活動を進めます。



ブース全景

2014年MECHATROLINKセミナー(台湾)開催報告

2014年3月21日(金)に台湾の台中にてMECHATROLINKセミナーを開催しました。

今回で第5回目の台湾セミナー開催となりました。MECHATROLINKユーザをはじめ、MECHATROLINKに関心を持っている多くの方々にご参加いただきました。

セミナーでは、MMA本部の事務局代表とMMA台湾支部のスタッフによる挨拶から始まり、MMAの活動およびMECHATROLINKの特長やソリューション事例を紹介しました。その後は、NEXCOM International Co., Ltd.、Advantech-LNC Technology Co., Ltd.、ADLINK Technology, Incによる講演を行いました。

セミナー会場後方には、8社によるMECHATROLINKのデモを展示し、各社から製品説明をしました。来場者は実機に興味深くじっくりと見ていました。質疑応答も行われ、非常に有意義なセミナーとなりました。

今後も台湾においてMECHATROLINKの普及活動を積極的に行いますのでご期待下さい。



会場の様子

SEMICON SINGAPORE2014出展報告

2014年4月23日(水)～25日(金)の3日間、シンガポールで開催された“SEMICON SINGAPORE2014”に出展しました。

初めての出展でしたが、ブースには多くのMECHATROLINK対応製品を展示し、デモを行いました。マルチベンダーによる接続性のデモは好評で、ゆっくり時間をかけてご覧になる来場者が多くみられました。ブースでは、協会の活動やMECHATROLINKによるメリットを紹介しました。

会期中、ブースには750名を超える来場者で賑わいを見せていました。ASEAN地区での更なるMECHATROLINK普及のため、今後もPR活動を進めて参ります。



ブース内の様子

MECHATROLINK新製品紹介

COMIZOA “COMI-LX530 (MECHATROLINK-Ⅲ)”

特長

- ・ PCI規格 ボード型マシンコントローラ(LX530-MECHATROLINK-Ⅲ対応)
- ・ 最大同期制御軸数：16軸
- ・ モーション制御周期：1.0ms
- ・ モーション補間機能：直線補間、円弧補間、スプライン補間、ヘリカル補間
- ・ モーション追加機能：ゼロ点復帰、原点復帰、リストモーション、モータ定格トルク制限、トルク制御

お問い合わせ先

COMIZOA CO.,LTD.

691 Gwanpyeong-dong, Yuseoung-gu, Daejeon, 305-509, KOREA
 TEL: +82-42-936-6500 FAX: +82-42-936-6507
 E-mail: csteam@comizoa.com URL: www.comizoa.com



COMI-LX530

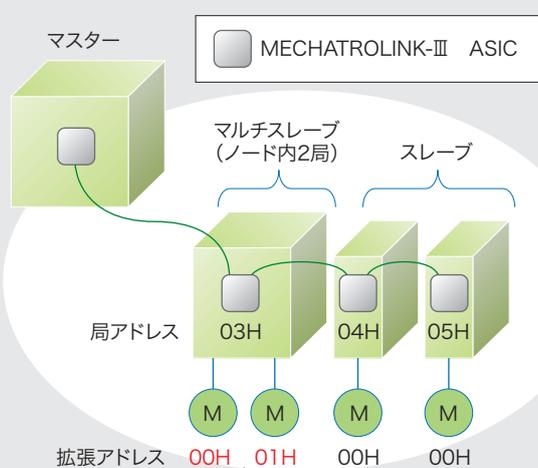
コラム

MECHATROLINK-Ⅲ マルチスレーブ機能

MECHATROLINK-Ⅲ対応のスレーブASICは、マルチスレーブ機能を持っています。マルチスレーブ機能は、1つのASICが複数のスレーブとして振る舞う機能です。

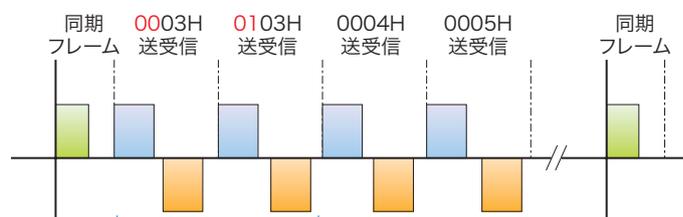
マスターからはアドレスの異なる複数のスレーブが接続されているように見えるため、マスターはマルチスレーブであることを特に意識することなく通信することが可能です。

マルチスレーブ機能を使用することで、多軸サーボドライバなどで使用するASICの数を減らすことができ、スレーブ機器の小型化、コストの削減などを図ることが可能となります。



マルチスレーブでは、拡張アドレスを使用してノード内の局を指定

伝送路の送受信



マルチスレーブの場合も、通常スレーブ同様に1局毎に、コマンド / レスポンスの送受信を実施
 ⇒ マスターは既存の標準プロファイルを使用して、通常スレーブと同様に制御が可能

マルチスレーブは専用のアクセスドライバを使用することで実現します。マルチスレーブ用アクセスドライバは、協会ウェブサイトにて公開しています。「各種ダウンロード」⇒「技術資料」⇒「MECHATROLINK-Ⅲ」(資料番号:MMATDJP030A)をご参照ください。

編集後記

新年度が始まりました。お陰様で、毎月のように展示会やイベントがあるため、各準備に日々追われています。週末は、気分転換を兼ねて自宅の掃除や家族と出かけたり、あるいは何もしない時間を作っています。日本では、季節に合わせてできる行楽イベントがたくさんあります。しかし、梅雨の時期は雨に悩まされて家に籠りがちです。今年は、そんな時こそ外に出て童心に返って新しい発見を探してみようと思います。(平沼)

お問い合わせ先

MECHATROLINK協会へのご入会、その他のお問い合わせは、下記までお願いします。

発行：平成26年6月3日

発行所：MECHATROLINK協会 〒358-8555 埼玉県入間市上藤沢480番地

TEL(04)2962-7920 FAX(04)2962-5913

e-mail：mma@mechatrolink.org

URL：http://www.mechatrolink.org/